

## 1 活動名

# midi を活用した音楽指導（自動伴奏）

## 2 対象

高等部生徒

## 3 内容と取組の様子

- ・生徒の実態に応じた教材（楽譜）を作成し、その midi データをアプリやキーボードで再生する。
- ・部分的な繰り返しの練習や、旋律だけを再生したり移調して再生したりする。
- ・教員はピアノから離れ、生徒の近くで一緒に歌ったり楽器を演奏したりなどの指導をすることができる。

[例]

- ・校歌、合唱曲、ポップス等（著作権に注意）の伴奏
- ・ハンドベル合奏の伴奏



## 4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・楽譜作成ソフト（Sibelius, Finale 等）
- ・midi 対応の電子キーボード
- ・一般的な音楽再生アプリ（Media Player, Quick Time 等）
- ・midi 再生アプリ(MidRadio 等)

## 5 おすすめポイント

- ・既存の楽譜を使用することが難しい場合、柔軟に教材作成ができる。
- ・CD等の再生ではできない移調、楽器選択、速度調整などが簡単な操作で行える。
- ・伴奏者として教員がピアノに固定されないため、教員がフリーに動くことができる。
- ・midi データはあらゆるソフトやデバイスに共通するフォーマットであり、データを蓄積していくことで教材作り等の業務の効率化を図ることができる。

## 6 さらに工夫したいこと

- ・作成したデータを蓄積（データベース化）し、複数の教員や学校、web 上で共有する。
- ・音楽の教員に限らず、たくさんの教員や生徒も手軽に活用できるための環境整備。
- ・ICT 機器を活用することにより、音楽指導の幅が大きく広がる。しかしながら音楽は、「人の表現活動」であるということも大切にしていきたいと考える。